



「子供たち1200人の想いとコーヒーで被災地に心の支援を」

2011年7月13日 野村浩哉

【活動趣旨】

この度の東日本大震災での被災地の皆様へ、勇気と安らぎをお届けし、継続的に心の支援を行っていくことが本活動の目的です。お送りするメッセージは上海日本人学校浦東校にご協力頂き、約1200人の子供たちが9cm×9cmの枠の中にそれぞれの想いを描いてくれました（現在虹橋校でもご協力頂けることが決定）。この子供たちの想いが詰まった一枚一枚のメッセージをドリップコーヒーに一枚ずつ付けて大切に被災地にお届けしています。

3月11日の東日本大震災から4ヶ月経過した今でも、被災地には不足しているものばかりだと聞きます。仮設住宅などで必要最低限の生活ができる環境下であっても、人間はそれだけでは生活をしていけません。生きていく上での生活が整った次にあるものは、見知らぬ人々が長い時間を共に生活しなければいけない避難生活の中で生まれる人間関係の摩擦（ストレス）です。この心理的な摩擦を少しでも解消するために、特に今は、心がホッとでき、一時でも安らぎが持て、気持ちがリラックスできるモノが求められていると感じます。

今後長期間に渡って生活の改善と町の復興をしていく上では、被災地の方々がこれからも多くの困難に直面することは誰の目にも明らかです。その困難を乗り越えていく唯一の支えとなるのが「応援してくれる存在」だと思います。人が困難に立ち向かい、乗り越えていけるのは、家族の存在であり、仲間の存在であり、人と人、心と心で励まし合える存在がいること・・・そしてその存在に気付くことで改めて人は強く生こうという意識が芽生えてくるのだと思います。子供たちの想いが描かれた一枚一枚のメッセージで勇気を、そして、心安らぐコーヒーで心のリラックスを、この2つを一緒に被災地にお届けし、被災地の方々と「心が繋がる支援」を継続的に行っていくことが重要だと考え、本活動を進めていきたいと思っています



【支援対象】

東日本大震災による被災地の方々

東日本大震災による被災地での支援活動を行っているの方々

【活動例】



【第一回 活動報告】

- ・宮城県気仙沼市古町2-2-39 個数：150パック
- ・宮城県亘理郡山元町大平字握6 山元町立山下第一小学校 個数：150パック
- ・東京都町田市高ヶ坂1003-8 個数：150パック
- ・福島県須賀川市池下23-3 個数：100パック
- ・仙台市宮城野区鶴ヶ谷7-15-6 個数：100パック
- ・福島県会津若松市追手町2-4 1大熊町役場会津若松出張所企画調整課 個数：300パック
- ・青森県八戸市糖塚字大開12-109 個数：150パック
- ・宮城県石巻市穀町14番1号 石巻市役所 個数：100パック

【最後に】

避難所の状況は刻一刻と変化しています。これまでに私が被災地の知人や、被災地に入って活動をしているボランティア団体とお話をして、今は何が足りていないのか、何が必要なのかと感じたのは、心の安らぎでした。現状としては、とりあえず住むところはある、食べ物もある、生きていく最低限のものは揃ってきた...でも、将来のことを考えたら先は暗い。どうしていいのかさえわからない。誰もがそんな状況だと思います。非常に厳しい状況ではありますが、今すぐ抜本的な解決策を出すことはどんな人間にも難しいと理解し、事実を事実として受け入れ、自分のことから始めようと思ったのが本活動です。今の私たちができることは、まず3月11日の出来事を忘れないということ、そして、支援を行っていく上では長期的な視点を持ち、一人が無理をして続ける活動ではなく、一人ひとりが無理なく、頑張らずにできる範囲で、長く続けていくことが大切だと考えています。誰も経験したことがないようなこの度の震災で、どんな活動が最前の方法なのかは行動しながら考えていくべき問題だと認識しております。ただ少なからず現在行っている活動である上海からの子供たちの力強いメッセージの力が、今後の日本の未来への大きな一歩に繋がると心から信じております。



【ご協賛のお願い・ご協賛方法】

・一口50円 お一人様何口からでもご協賛頂けます。

・協賛商品の購入 ドリップコーヒー12パックセット 1セット/150円

説明：この協賛商品ドリップコーヒーをご購入頂くと、被災地にも全く同じドリップコーヒーが届けられます。



【本活動におけるお問い合わせ先】

担当：野村浩哉

連絡先：13585778591

mail：hiroya@alt-coffee.com

「子供たち1200人の想いとコーヒーで被災地に心の支援を」